

産業廃棄物処理計画書

平成 30 年 6 月 12 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県柏崎市北斗町4番28号

株式会社 リケンキャストック

氏名 取締役社長 黒澤 秀行

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0257-24-2431

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 リケンキャストック
事業場の所在地	柏崎市北斗町4番28号
計画期間	平成 30 年 4 月 1 日 から 平成 31 年 3 月 31 日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	運送用機械器具製造業
② 事業の規模	758,542万円
③ 従業員数	285人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・ 汚泥 処理業者へ委託・ 廃油 処理業者へ委託・ 廃プラスチック類 処理業者へ委託・ 木くず 処理業者へ委託・ 木くず (パレット) 再生業者へ委託・ ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず 処理業者へ委託・ 鋳さい (電気炉の残さい) 処理業者へ委託・ 鋳さい (鋳物廃砂) 再生業者へ委託 → 再生砂として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

法的管理者:常務取締役(管理部長兼任)
 法規制担当者:管理部安全環境課課長
 廃棄物保管場所の維持管理:当該部署長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (29 年度) 実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉍さい		
		排出量	7.79 t	5.23 t	5.11 t	8.84 t	15.98 t	27,539.50 t	t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
① 溶解用鉍さい箱に捨てていた消耗型浸漬熱電体を回収し産業廃棄物として出さないようにした。 ② 溶解用鉍さい箱に捨てていた使用済みチル試験片用砂型を回収砂としてリサイクルした。 ③ 木くずとして廃却処分していたパレットを再生業者に引き取りを依頼した。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉍さい		
	排出量	8.05 t	5.40 t	5.28 t	9.13 t	16.51 t	28,448.30 t	t	t
	産業廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
平成29年度売上高実績(758,542万円)に対し、30年度売上高計画(783,544万円)が3.3%アップすることを加味し、目標BMを決定した。									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	① 溶解用鉍さい箱に捨てていた消耗型浸漬熱電体を回収し産業廃棄物として出さないようにした。 ② 溶解用鉍さい箱に捨てていた使用済みチル試験片用砂型を回収砂としてリサイクルした。 ③ 木くずとして廃却処分していたパレットを再生業者に引き取りを依頼した。								
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	上記の分別を引き続き徹底実施する。								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（29年度）実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00
産業廃棄物の種類								
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t		t		t		t
(これまでに実施した取組)								
特に実施していない。								
【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00
産業廃棄物の種類								
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t		t		t		t
(今後実施する予定の計画)								
実施予定なし。								

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（29年度）実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t		t		t		t
産業廃棄物の種類								
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t		t		t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t		t		t		t
(これまでに実施した取組)								
特に実施していない。								
【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t		t		t		t
産業廃棄物の種類								
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t		t		t		t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t		t		t		t
(今後実施する予定の計画)								
実施予定なし。								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
(これまで実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（29年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい		
	全処理委託量	7.79 t	5.23 t	5.11 t	8.84 t	15.98 t	27,539.50 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	7.79 t	5.23 t	5.11 t	8.56 t	15.98 t	1,196.88 t		
	再生利用業者への処理委託量				0.28 t		26,342.62 t		
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量								
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
(これまで実施した取組)									
委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。									

① 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	鉱さい			
	全処理委託量	8.05 t	5.40 t	5.28 t	9.13 t	16.51 t	28,448.30 t			
	優良認定処理業者への処理委託量	8.05 t	5.40 t	5.28 t	8.84 t	16.51 t	1,236.38 t			
	再生利用業者への処理委託量				0.29 t		27,211.93 t			
	認定熱回収業者への処理委託料									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量									
	優良認定処理業者への処理委託量									
	再生利用業者への処理委託量									
	認定熱回収業者への処理委託料									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	(今後実施する予定の取組)									
	可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 また、委託先処理業者を定期的に現場確認を実施する。									
※事務処理欄										